

## インフルエンザ流行情報（第1報）

本県における平成22年第50週（12月13日～19日）のインフルエンザ流行指数が流行開始の指標である1.0を超え1.53人となり、インフルエンザ流行が始まったと考えられます。

流行開始指標(1.0人)を超えている保健所は、つくば保健所管内8.4人、竜ヶ崎保健所管内2.29人、土浦保健所管内2.0人、ひたちなか保健所管内1.38人、常陸大宮保健所管内1.0人です。

全国の流行指数は1.41人で、佐賀県が8.26人、長崎県7.36人、北海道5.87人、となっており、本県は14番目です。

今後、県内においてインフルエンザの流行が予測されますので、県民の皆様に対し、「手洗い・うがいの励行」「咳エチケットの実践」等インフルエンザの予防について、呼びかけをお願いします。

なお、今シーズンの全国におけるインフルエンザウイルス検出状況(12月20日現在)は、新型インフルエンザが約36%、A香港型が約58%、B型が約6%となっており、本県では新型インフルエンザが約42%、A香港型が約58%、B型は検出されておられません。

### 《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

保健所	定点数	調査期間：H22. 12. 13～H22. 12. 19(第50週)		
		患者数	流行指数	注意報・警報の発生状況
水戸	17	12	0.71	—
ひたちなか	8	11	1.38	—
常陸大宮	8	8	1.0	—
日立	11	0	—	—
鉾田	5	2	0.4	—
潮来	8	5	0.63	—
竜ヶ崎	14	32	2.29	—
土浦	13	26	2.0	—
つくば	10	84	8.4	—
筑西	10	1	0.1	—
常総	8	1	0.13	—
古河	8	1	0.13	—
県全体	120	183	1.53	—

※ 地域注意報の発令基準は《備考》欄を参照ください。

《備 考》

**インフルエンザの流行に関する警報・注意報について**

① 県では、県内のインフルエンザ流行状況を把握するため、延べ120医療機関(小児科75、内科45)に1週間単位で患者数の報告を求めており、保健所毎に以下によりインフルエンザ流行指数を算出します。

※患者の報告数は、各医療機関でインフルエンザと診断されたものであって、PCR検査をすべて実施し確認したものではありません。

$$\text{インフルエンザ流行指数} = \frac{\text{インフルエンザ定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数}}$$

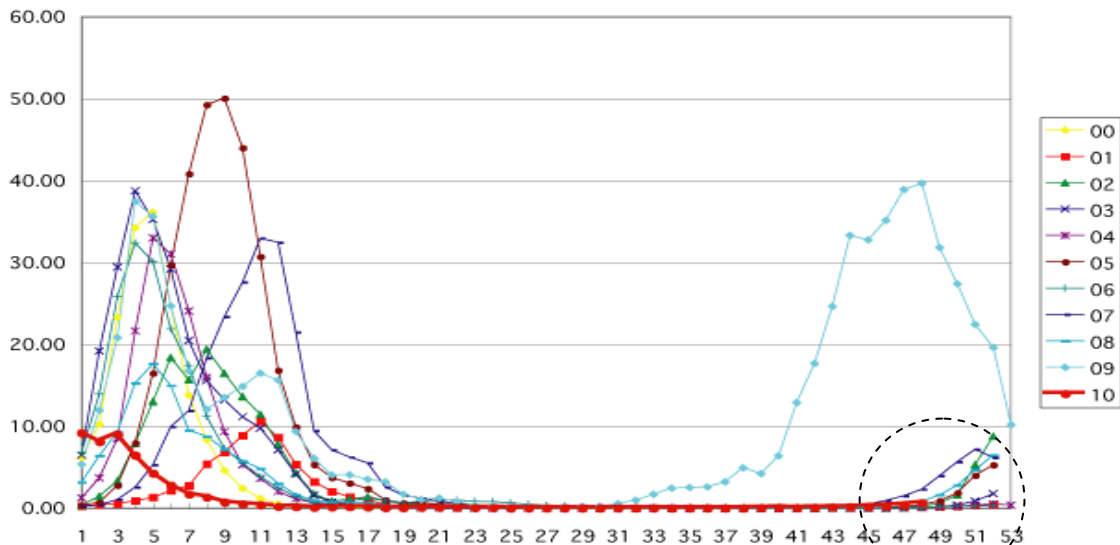
② 流行指数が、**基準値(注意報：1.0 警報：3.0)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。

また、県全体において流行指数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。

**注意報**：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。

**警報**：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

**過去10年間のインフルエンザ流行指数(2000~2010年)**



**全国と茨城県の今シーズンの流行指数の比較**

